

「大新こども食堂」での大学生ボランティア

大新こども食堂とはどんなところか、事務局長の三岩眞紀さんに聞きました。

和歌山市の東ぶらくり丁にある「大新こども食堂」は、地域の学生たちと共に多世代交流や地域交流の場を提供することを目的に活動を始めました。また、防災備蓄品を整備し、地域の防災拠点としての役割を果たすことにも力を入れています。

運営には、地元商店街や地域の方々、和歌山県内の大学の先生方、和歌山信愛大学の学生さんたちなど、本当に多くの方々に支えられながら取り組んでいます。

ここでは、単に食事を提供するだけでなく、季節ごとのイベントや学習支援、食育事業なども行い、地域の人たちが安心して交流できる場を提供しています。

「大新こども食堂」は、こどもは無料、大人は300円で利用できる仕組みとなっており、予約・登録制です。詳しくはLINEのオープンチャット（ほんまち & 大新こども食堂）やInstagram（team_make_spot）をご覧ください。

大学生ボランティア 中嶋音花さんにお話を伺いました

ボランティアのきっかけは大学のゼミだと聞きましたか…

はい、2回生のとき、ゼミの授業で訪れたことがきっかけです。ゼミでは、誰もが安心して過ごせる居場所づくりを学ぶことを目的に、「大新こども食堂」の運営やイベント準備をお手伝いさせていただきました。活動を通じて、こどもたちと関わることの楽しさや、三岩さんのお人柄、そしてこども食堂の取り組みに触れるうちに、「もっとこの活動に関わりたい」という気持ちが強くなりました。

12月に行われたクリスマス会でのお手伝いの後、「授業が終わっても個人的に続けたい」と三岩さんに相談したところ、快く受け入れてくださったので、今も活動を続けています。

中嶋さんは主にどのような活動をしているのですか。

こども食堂を訪れた方への食事の提供を担当しています。こどもだけでなく、大人



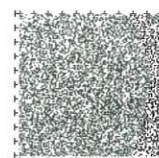
大新こども食堂
事務局長 三岩眞紀さん



↑
LINE
オープン
チャット



和歌山信愛大学3年生
中嶋音花さん





の方もおいしそうにごはんを食べてくれる様子を見ると、とても嬉しくなります。今日もたこ焼きや飲み物を提供したのですが、みなさんが喜んでくれるのを見て、私も嬉しい気持ちになりました。

また、こどもたちへの絵本の読み聞かせもしています。事前に大学の図書館で絵本を借りるのですが、こどもたちの反応を想像しながら絵本を選ぶ、その

時間も楽しみのひとつとなっています。例えば、ホットケーキを提供する日だったりすると、ホットケーキが出てくる絵本を選んだりします。読み聞かせのときは、ただ読むだけではなく、こどもたちに問いかけたり、感じたことを聞いたりしながら、一緒に楽しい時間を作るようにしています。

さらに、食事中にはピアノの演奏もしています。リラックスできる空間を作りたいと思い、季節の曲やこどもたちが口ずさんでいる曲、リクエストされた曲などを弾いています。

「やりがいを感じる瞬間について教えてください。」

私がやりがいを感じるのは、こどもたちの笑顔に出会えたときです。ここでは、ただ食事を提供するだけでなく、来てくれた方に楽しい時間を過ごしてもらおうことも大切にしています。その思いが伝わっているのか、こどもたちが楽しそうにしている姿や、「楽しかった」と言ってもらえる場面にたくさん出会うことができます。そうした瞬間にふれるたび、大きなやりがいを感

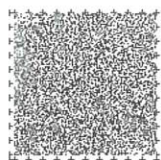
「ここでのボランティア活動を通して学んだことについて教えてください。」

ゼミが始まるまでは、こども食堂は「こどもに食事を提供する場所」だと思っていました。でも、実際に関わっていく中で、親世代の方や年配の方も来られていて、こどもだけでなく、多世代の方たちが安心して過ごせる居場所なのだと気づけました。さらに、多くの方の居場所となるために、ワークショップやイベントを開催するなど、たくさんの工夫をされていることにも驚きました。

私にとっても、大新こども食堂は、家庭や学校に続く第3の居場所になっています。

「今後の活動での目標があれば教えてください。」

大新こども食堂には、何度も足を運んでくれるリピーターの方が多いです。そうした方々と顔を合わせるたびに、少しずつでも利用者一人一人と信頼関係を築いていけたらいいなと思っています。特に、こどもたちの成長を近くで見守りながら、名前を呼んだ



り、ちょっとした会話^{かいわ}を交^かわしたりして、
温^{あた}かいつな^{たいせつ}がりを大切^{たいせつ}にしていきたいです。

また、こどもたちだけでなく、大人^{おとな}の方^{かた}
も安心^{あんしん}して過^すごせる場所^{ばしょ}として、「こども
食堂^{しょくどう}はみんなの居場所^{いばしょ}なんだよ」というこ
とをもっと知^しってもらえたら嬉^{うれ}しいです。

これからも、一人^{ひとり}でも多^{おほ}くの方^{かた}に「来て
よかった」と思^{おも}ってもらえるような温^{あた}かい空間^{くうかん}づく^{めざ}りを目指^{めざ}して、お手伝^{てつだ}いをしていきたく
思^{おも}っています。



取材^{しゅざい}を通して、若い世代^{わか}が地域社会^{せだいちいきしゃかい}のため^{ため}に力^{ちから}を尽^つくしている姿^{すがた}に心^{こころ}を打^うたれました。

どの活動^{かつどう}にも共通^{きょうつう}しているのは、「誰^{だれ}かを思^{おも}う気持^{きもち}」を行動^{こうどう}に移^{うつ}していることです。

学生^{がくせい}の皆^{みな}さんは、それぞ^{それぞ}れの立場^{たちば}で地域^{ちいき}の課題^{かだい}と真^{しん}剣^{けん}に向^むき合^あい、自分^{じぶん}にできることを探^{さが}して
実践^{じっせん}していました。こう^{こう}した取^と組^くみ^あいが、地域^{ちいき}に温^{あた}かなつな^ながりを生^うみ出^だし、誰^{だれ}もが安心^{あんしん}して暮^く
らせる社会^{しゃかい}づく^くりにつな^{つな}がって^{かん}い^{かん}くと感^{かん}じま^{かん}した。

相談^{さうだん} 秘密^{ひみつ}
せうだんありよう ひみつけし
無料^{むりょう} 厳守^{げんしゅ}

じん けん
人権ホットライン
人権でんわ相談
じん けん そう だん

さまざまな問題^{もんだい}や悩^{なや}みを抱^{かか}える
相談者^{さうだんしゃ}に助言^{じょげん}を行^{おこな}い、
自身^{じしん}が主^{しゅ}体的^{たいてき}に問^{もん}題^{だい}を解^{かい}決^{けつ}する
た^ため^めの支^し援^{えん}を行^{おこな}います。

一般相談

①開設日時^{かいせつにちじ}／毎^{まい}週^{しゅう}月^{げつ}曜^{よう}日^び～金^{きん}曜^{よう}日^び
午前^{ごぜん}9時^じ～午後^{ごご}4時^じ
(祝^{しゅく}日^{じつ}・12/29～1/3は休^{やす}み)

②相談方法^{さうだんほうほう}／電^{でん}話^わ相^{さう}談^{だん}

TEL 073-421-7830

弁護士による無料法律相談

①開設日時^{かいせつにちじ}／偶^{ぐう}数^{すう}月^{げつ} 第^{だい}2・第^{だい}4木^{もく}曜^{よう}日^び
奇^き数^{すう}月^{げつ} 第^{だい}2土^ど曜^{よう}日^び・第^{だい}4木^{もく}曜^{よう}日^び
午後^{ごご}1時^じ～4時^じ(当^じ日^{じつ}が祝^{しゅく}日^{じつ}の場^{ばあ}合^{あい}はその翌^{よく}日^{じつ})

②相談方法^{さうだんほうほう}／面^{めん}接^{せつ}相^{さう}談^{だん}・オ^おン^んラ^らイ^いン相^{さう}談^{だん}

TEL 073-435-5420 (お電話^{でんわ}で^{よやく}ご予^よ約^{やく}く^ください)

日頃^{ひごろ}、生^{せい}活^{かつ}の中^{なか}で人^{じん}権^{けん}に関^{かん}するお困^{こま}り事^{こと}などがありま^あしたら、
お気^き軽^{がる}にご相^{さう}談^{だん}く^ください。

2025 (令和7) 年度法律相談実施日

2025年8月14日・28日、9月13日・25日、10月9日・23日、11月8日・27日、12月11日・25日、
2026年1月10日・22日、2月12日・26日、3月14日・26日

